

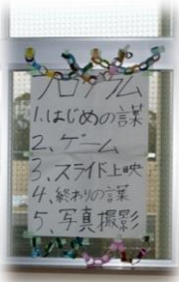


学校紹介 ～その20～

卒業を祝う会

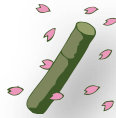


2月27日(水) 17時30分から、食堂において「卒業を祝う会」が行われました。



ビンゴ大会やスライド上映など、卒業生や生徒会、職員で楽しい時間を過ごしました。

卒業式予行



今年度は卒業式予行と卒業式を行基町の旧敷地(伊丹市立伊丹高等学校)で実施しました。

卒業生たちは教室に入るなり、「懐かしい」、「ここに座るだけで涙が出そう」と懐かしい校舎に感慨ひとしおの様子でした。

この日は「全国高等学校定時制通信制教育振興会優秀生徒」はじめ、「全国商業高等学校協会成績優秀者」、「兵庫県スポーツ優秀選手賞」、「伊丹市教育委員会賞」、「ふれあい教育賞」、各種検定の表彰など、延べ20名以上の卒業生が表彰されました。



卒業式



卒業式

3月1日(金) 第60回卒業式が挙行されました。この日、卒業生代表2名で答辞を読む予定でしたが、Fさんがインフルエンザで欠席したため、政(つかさ)さんが1人での答辞となりました。以下にFさん、政さんの答辞を紹介します。



答 辞

私が市高に入学してから、もう五年になります。入学した時、同い年で同じ中学校出身の人は私を含めてたった四人しかおらず、初めは不安でしたが、幼なじみたちとまさかの九年ぶりに再会し、一瞬で私の高校生活は楽しいものとなりました。

新入生歓迎会で、先輩たちの演奏に惚れて軽音楽部に入部。私はベースを担当することになりました。それから私は、友達と部活が目的で学校に通いました。

きちんと授業を受けていたのは、先生全員が個性豊かで面白いから、という理由だったのは今だから言える話。しばらくして仲良くなった先輩に頼んでダンス部にも入部しました。二つの部活を両立するのは本当に大変だったけど、よい経験になりました。

そうこうしているうちに気づけば全学年のいろいろな人と仲良くなっていて、もともと人見知りしない性格だったので、あっという間に友達が増えました。

それからプライベートも学校生活も充実し、授業が終わったら軽音に行き、軽音が終わったら、公園の広場でダンスの練習。そして何時間かしたら地元や他校の友達と遊んでそのままアルバイトへ。当時の私は一日二時間睡眠なんて当たり前。二日間寝ないで過ごすこともたくさんありました。

二年生になっても、私の不規則な生活は続いています。生まれつき体が弱く、免疫力も低いのに無茶を

し続けたせいで、よく体調不良で学校を休むようになりました。そして二年生の三学期に学校行事で欠席時数を超えてしまい、留年することになってしまいました。そこからは家庭の事情もあり、空いた時間のほとんどをアルバイトに費やしていました。

そして、二度目の二年生を迎えました。学校に行っても、私は留年しているので仲のよい友達とは一緒に授業を受けられず、同じクラスの子はみんな年下。クラスの雰囲気も私には合わず、正直学校に行くのが億劫でした。でも、毎日古川先生がモーニングコールをしてくれました。おかげで何とか三年生に進級することができました。私の電話番号が古川先生の携帯電話の発信回数ランキング一位になり、お嫁さんへよりも多く電話していたことや、授業中に古川先生のことを「オカン!」と呼んでしまい、性別すら間違えてしまったこと、ボウリング大会で最下位になったことが思い出されます。

四年生になった時、学校が移転して家から遠くなりました。自転車で一時間はかかる距離になりました。アルバイトの時間が延びると、一、二時間目に間に合わず、そのまま学校を休むことが多くなり、その度に友達が心配の電話をしてくれて、背中を押されながら今日までなんとか頑張ることができました。K、S、Aありがとうございます。

部活にもあまり顔を出せなくなって、部長の私の代わりに部員をまとめてくれたM君にも本当に助けられました。

西潟先生、忙しい中、空いた時間を見つけてはみんなが見ていないところで軽音楽部を支えてくれてありがとう。泉先生にも本当にお世話になりました。光井先生、宿題を提出日にあわててやっていること、なぜか毎回ばれてしまい苦い顔をされたのも今となってはいい思い出です。

そして、今、演奏をしてくれている丸尾先生ありがとうございます。

名前をあげるとキリがないけど、市高の先生や友達には言葉では足りないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。卒業式の前に成人式を迎えてしまったのは悔しいけれど、市高で過ごしたこの五年間、本当に楽しかったです。ここで出会ったみんなのこと、一生忘れません。市高生で本当によかった。先生も生徒もみんな大好き。市高には素敵な人たちがばかり。本当に私はよい人たちに恵まれていたな、と思います。私と関わってくれたすべての人たちに心から感謝。

四年 F. I

答 辞

四年前、私は四十五年ぶりに学生に戻りました。高校生活は初めての経験でした。

一年生の時、授業中に後ろから消しゴムを投げられたことがありました。担任の先生に相談すると、先生はホームルームの時間に誰かとは言わず、「消しゴムを


投げる人がいるが、高校生にもなるので授業に集中しなさい」と注意して下さり、それからはそういうことはなくなり、より授業に集中出来るようになりました。また、勉強について行けない時には先生が声をかけて下さり、夏休み中に復習をして頂いて、少しずつ理解が出来るようになりました。先生は「あなたが教室に居ただけで若い生徒達の刺激になっています」と言って下さいました。私が成績に不安があり「進級出来るか心配です」と言うと、「努力して、ガンバって勉強されていますよ」と反対に勇気をもらったことがありました。また他の先生からも「わからなければ、そこがわからないと授業中でも言って下さい」と言われましたので、授業中に手を挙げて「そこが理解出来ません」と答える様にしました。先生は「他の生徒も理解出来ない人が居るから、私も理解してもらえるように工夫することが出来ます」と言って下さいました。

卒業に必要な単位を修得出来たのも先生方のお力添えのおかげと感謝しております。

学校だけでなく家族の支えもあります。主人が仕事を終えて帰ってきても面倒を見れず、私の帰りを待ってもらっていました。しかし、定時制高校は様々な環境の下で勉学に勤しむ人達の学舎(まなびや)と感じています。

最後に先輩として後輩に贈る言葉です。コツコツと努力をすれば必ず目標は達成出来ます。全日制と違って、働きながら学び卒業することで、これからの人生においてどんな逆境でも乗り越えられる精神力が養われると思います。皆さんも伊丹市立高校の卒業生になれるよう頑張ってください。

四年B組 政知恵子

※卒業式当日インフルエンザや体調不良で欠席した2名の卒業生のため、3月6日に「2人だけの卒業式」を行いました。
Fさんは職員やこの日駆けつけた卒業生、部活の後輩の前で立派に答辞を読み上げました。

3月の行事予定



3月 11日(月)……カウンセリング
22日(金)……終業式

編集後記



市高の様々な取り組みを地域の方にご理解いただくため発行されたこの「市高だより」も、この号で20号を数えます。来年度は学年がまた一つ減り、3、4年生だけの学校になりますが、生徒たちの活躍を今後もこの紙面でお伝えできればと考えています。次号4月10日号もご期待ください。